



摂津ロータリークラブ週報

SETTSU ROTARY CLUB

Club Weekly Bulletin

第2660地区

ガバナー 高島 凱夫

- ・事務局 〒566-0001摂津市千里丘7丁目9-31 コカ・コーラウエスト(株)千里丘オフィス6F TEL06 (6330) 2267 (事務局直通)
http://www.settsu-rc.gr.jp E-mail:info@settsu-rc.gr.jp
- ・例会場 〒565-0826 吹田市千里万博公園1-5 ホテル阪急エキスポパーク TEL06 (6878) 5151
- ・役員 会長 横田 聡 副会長 益田 光三 幹事 東谷 弥八郎

本日の例会第 2039 回 9月14日

- ◇ ソング「友達になろう」
- ◇ 「建物の維持・管理について」
青木会員

今 週 の 動 き

- ◇9/14 (金) 長期プロジェクト委員会

次週例会予定 9月21日

- ◇ 月間卓話
国内奉仕委員会 埜口委員長

例会日の出席	会 員 数	出席免除数
	40名	6名
9月7日	出席数	出席率
	25名	69.44%
前々々回の修正	欠席数	内 MU数
	9名	8名
8月24日	修正出席率	
	97.22%	

会長の時間

9月7日
横田 会長

今週は週報のお話をします。私が最初に週報を担当したのは入会2年目のことでした。当時は印刷屋さんに印刷を頼んでいました。原稿を集めるのは一緒ですが、集めた原稿を印刷屋さんにファクシミリで送り、それを基に週報を作ってもらっていました。卓話の原稿などは貰えるのですが、ニコニコ箱の原稿はSAAが報告し終わったあと、封筒を受け取り、専用の原稿用紙にその内容を書き写していました。ちょうど卓話の始まっている時間でしたが、卓話そっちのけで書き写していたのを今でも思い出します。

その次に担当した時に、印刷屋さんに頼まずに事務局で週報を作れないかという話が出ました。その当時、週報作成に70万円近い費用がかかっていたのですが、前年度の1999年10月に事務局にパソコンが導入されたこともあって、パソコンを利用してもっと安くできるのではないかということでした。当時私は副委員長でしたが、委員長と相談した結果その時は見送りとなりました。

そして、その次の年度から事務局で作るようになりました。2001年7月のことです。最初はすべて手作りだったので、従来のものと比べるとやはり見劣りがしたのは仕方ないと思います。写真もありませんでした。その次の年度にはサイズがB5からA4に変わり、表紙だけは印刷して貰うようになって、体裁も現在と同じものになりました。年々掲載される写真の枚数もだんだんと増えてきたのですが、写真の評判はよくありませんでした。原稿の段階ではいいのですが、最後にコピーして出来上がってみるとどうしても写真がきれいに印刷できませんでした。その点も事務局に新しいコピー機が入り、2011年6月末からカラーのきれいな写真が載るようになりました。

四つのテスト

- ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

現在、表紙だけを印刷屋さん印刷してもらっていますが、その費用は3万円弱になっています。ということで私の入会以来週報がどのように変わってきたかをお話ししました。ただ70万円近くかけて印刷屋さんやって貰っていたことの大半を今は事務局でやってもらっています。卓話を担当する方、委員会報告をする方、もちろん週報を担当する方も事務局ではできるだけ手間がかからないような工夫と心遣いをお願いします。そのことを付け加えまして本日の卓話とします。

幹事報告

東谷 幹事

1. 茨木東ロータリークラブより4月に開催されましたIMの報告書が届きましたので配布致しました。
2. 【パスト・ガバナー大谷透様ラジオ出演のお知らせ】

- 日時 2012年9月8日(土)
朝 8:00 ~ 10:00
- 番組名 ラジオ関西「寺谷一紀のまいど! まいど!」

- 出力 AM KOBE 558 KHz

3. 第11回ロータリー全国囲碁大会のご案内
日時 2012年10月20日(土)
09:30 登録受付 10:00 開会式
16:30 表彰式
会場 日本棋院会館(東京・市ヶ谷)
1階対局場
主催 ロータリー囲碁同好会日本支部
共催 第2580、2750両地区(東京2地区)
ホスト 東京ロータリークラブ
登録料 7,000円(昼食代、賞品等含む)
※大会お申込の方は当クラブ事務局までお問合せ下さい。

4. 本日例会後、理事会を開催します。

理事会報告

東谷 幹事

1. 川西会員出席免除の件 承認
2. 疋田会員出席免除の件 平成24年12月末迄 承認
3. 摂津市美術展寄託賞の件
例年通り国内奉仕委員会費より約25,000円を拠出
承認
4. チャレンジコンテスト摂津地区実行会構成団体負担金の件
国内奉仕委員会費より10,000円拠出 承認
5. 優良事業所見学会の件
日時: 10月12日(金) 例会終了後
場所: サントリー山崎蒸留所見学
見学後、親睦会(会費10,000円程度) 場所未定
承認

6. 輪い輪いまつりの件
チケット 1枚500円個人負担にて 承認
7. 地区大会登録料の件
登録料5,000円×会員数(40名)を本会計より拠出
承認
8. 辻井会員職業分類変更の件
タクシー業に変更する 承認
9. その他
 - ・概況報告書の件 低予算にて製作
 - ・さくらインターネットレンタルサーバー更新の件
更新料年間1,500円 本会計より拠出 承認
 - ・秋のライラ登録の件
1名登録6,000円
新世代委員会費より拠出 承認
 - ・米山奨学生レクリエーション宝塚観劇
カウンセラー出席(辻井夫人)
米山奨学生世話クラブ補助費より5,000円拠出
承認
 - ・米山奨学生ティリさん 事業所見学参加費、米山奨
学生世話クラブ補助費より拠出 承認

本日のゲスト

米山奨学生 ティリ・ヤダナさん

今月のお祝い

誕生日 秋山会員 山内会員
夫人誕生日 川西会員 木原会員 尾崎会員
寺原会員
結婚記念日 益田会員 佐藤会員 寺原会員
事業所開設 三木会員



委員会報告

§ 新世代委員会

望田 委員長

【2012 秋のライラ（上級）のご案内】

日時：2012 年 10 月 6 日（土）～8 日（月・祝）

場所：六甲山 YMC A

参加対象者：初級ライラ終了者

定員：15 名

受講料：青少年 20,000 円（推薦 RC で負担）

ローション 6,000 円

申込締切：2012 年 9 月 15 日（土）

§ 増強・退会防止委員会

森川 委員長

2012～2013 年度活動方針にも掲げましたが、会員の協力を戴き、個人・団体・企業の情報を広く収集し増強に務める。そこで、2012 年 8 月 3 日の例会に於いて、会員増強拡大月間に当たり協力依頼を戴く手段として、出席メンバー全員にアンケートをお願い致しましたが、御協力有難うございました。

出席者数：30 名 提出数：29 名 回収率 99.7%

質問事項	回答欄
入会后何人のスポンサーになったか	45 名/29 名
知人で入会案内できる方は何人位おられますか	10 名/29 名
在籍年数	約平均 10 年
現在の摂津 RC を誇りに思っていますか	思っている 25 名 (+4) 思っていない 4 名 (+2)
現在の摂津 RC に不満がありますか	不満がある 2 名 不満はない 27 名

入会の動機：スポンサーに熱心に誘われて
ボランティア活動に興味があった
50 才の入会予定を早くした方がよいと勧められて
会員に勧められて
前任者の交替会員として
RC に興味があったので
様々な方々との交友を求めて
強引・無理矢理入会
何となく、入会を誘われて
地域での交流を深めて
社会奉仕の機会を得るため
多くの方と親睦と交友を深めるため
父が所属していたクラブで自己研鑽のため
スポンサーが入っているクラブならよい会なのだろうという動機
自分の視野を広げるため
海外での奉仕活動に興味があったから

卓話「相互理解を深めるために

～2008 年暑かった夏

望田 会員

相互理解スクールとは

アジア太平洋地域の平和の実現には、これからの国を担っていくアジア各国の若年層による相互理解が必要と考えました。そのためには、この「相互理解プログラム」をアジアに広め理解していただき、まずは近隣諸国との相互理解を図ることの大切さを伝え、そのことがさらに恒久的な世界平和につながることを信じます。

相互理解プログラムとは

アジア太平洋地域の平和の実現には、これからの国を担っていくアジア各国の若年層による相互理解が必要と考えました。

そのためには、この「相互理解プログラム」をアジアに広め理解していただき、まずは近隣諸国との相互理解を図ることの大切さを伝え、そのことがさらに恒久的な世界平和につながることを信じます。

相互理解プログラム概要

セクション 1

- 「川で子どもが溺れています。その子はあなたの国と喧嘩している国の子のようです。あなたはどうしますか」→グループ討議

- 討議の結果：国籍に関係なく助けるのが当たり前だ。多くの方は自分のことを好きになってもらうために、相手の趣味、音楽、食べ物等どこか共通点を探し出し、会話を重ねて仲良くなろうとするでしょう。それは相手のことに興味をもち理解しようと思ったからではないでしょうか。相手に対する思いやりの気持ちがあったからではないでしょうか。仮に国と国との間に宗教観の問題や国家間の壁があったとしても困った人を助けたいという気持ちや子どもたちの為により関係を築いていこうという気持ちがあれば両国の問題も越えられないことはないのです。相手の良さを知り、相手の立場になって考えることが理解することの第一歩なのです。

セクション2

- ・「相手の国とより良い関係を築いていくために、障害となりうる課題を話し合う」→グループ討議（ただし、反論はしない）
- ・討議を通して、お互いの環境や文化的な背景を認識し、お互いに障害となりうる課題を共通認識する
- ・国家間の課題はお互いの立ち位置から認識の違いに繋がり、価値観や文化観、宗教観の違いから生じる
- ・家族や友人が、幸せで平和に暮らせる事を願う気持ちは同じです。
- ・私達が幸せな関係を築くためには、相手の立場を尊重し、お互いを理解し合って、共に協力することが大事なことです。
- ・今後どのような行動を起こしていきますか？

セクション3

- ・「環境・経済・教育・健康という議題に沿って、共に発展させて行くにはどうしたら良いか」→グループ討議（ただし反論はしない）
- ・現在のお互いの取り組みについて話し合う。
- ・自国の取り組みの良いところ、進んでいるところを提案する
- ・相手国の取り組みの良いところ、進んでいるところを提案して貰う
- ・お互いの良いところを取り入れて、お互いに発展して行くにはどうしたら良いのか話し合う。
- ・そのためには、両国がどの様に協力していけば良いのか話し合う。

相互理解スクール2008

- ・「相互理解プログラム」を小学校低学年用にアレンジし、反日教育を受ける前の子ども達を対象に、全国9か所で開催しました。
- ・参加対象者は小学校1～4年生までの男女で、開催時期は夏休み期間としました。

実施日程・場所

8月

22～24日 北海道留萌市 広島県東広島市
茨城県つくば市

28～31日 山形県山形市

29～31日 大阪府池田市 愛知県小牧市

9月

13～15日 香川県高松市 沖縄県那覇市

参加者概要

開催地	人数 (日本)	年齢層	出身国	人数	年齢層
留萌	9	8～13	香港	3	12
東広島	2	8～10	ベトナム	2	8～12
つくば	4	3～9	ベトナム	2	6～8
山形	3	9～11	台湾	3	11～12
鹿児島	3	11～12	台湾	3	7～11
池田	3	12	台湾	3	7～14
小牧	3	10～12	台湾	3	11～12
高松	7	9～12	中国	3	12
那覇	3	10～12	フィリピン	3	11～12
9カ所	延べ 37人	3～13	5カ国	延べ 25人	6～14

基本的な日程

- 【第1日】
- 1300 集合(開催地近隣空港又は主要駅)
 - 1430 開校式
 - 1530 相互理解プログラム 開始
 - 1730 相互理解プログラム 終了
 - 1900 夕食 終了後フレンドシップサロン
 - 2030 ホームステイ先へ
 - 2300 就寝

【第2日】0800 朝食
0900 社会見学出発
1800 社会見学終了
1900 夕食

【第3日】0800 朝食
0930 本事業に参加して、皆で一緒に行動し考えたことについて作文作成
1030 未来の自分へのメッセージ
1100 解団式 解散

留萌スクールでの日程

【前日】1530 新千歳空港国際線ターミナル着
札幌市内宿泊
【第1日】0800 札幌発 車で留萌市へ
1230 留萌市役所 市長へ表敬訪問
1530 ホームステイ宅へ 日本側参加者と合流
1730 市内の牧場でバーベキュー
2030 ホームステイ先へ

【第2日】0800 朝食
1000 相互理解プログラム 開始
(商工会館会議室)
1200 相互理解プログラム 終了
1300 羽幌市へ向かう道中で道の駅にて昼食
1430 社会見学(風力発電所・数の子生産工場)
1630 市内の畑にてとうもろこし、トマトなどの野菜を収穫・生で実食
1730 ホームステイ先へ帰宅
1800 ホームステイ先の近所の人たちを交えてのバーベキュー

【第3日】0800 朝食
0930 本事業に参加して、皆で一緒に行動し考えたことについて作文作成
1030 未来の自分へのメッセージ
1100 解団式 解散 車にて新千歳空港へ
空路香港へ

保護者の感想

留萌市は、北海道の東海岸に位置する小さい市ですが、かつては鱈、数の子の生産で有名な町で、現在も数の子の生産全国1位という場所です。その留萌の特色を最大限に生かし、また、今回参加される子ども達は初めて日本に来るということを聞いたので、素晴らしい滞在になるようにと、世話人全員でスケジュールを考えました。内容としては、数の子プラントの見学、風力発電所、農園での収穫体験など、留萌を体感できる内容で行い、食事も留萌で取れる野菜や魚、地元牧場の肉やハンバーグ、北海道ならではのジンギスカンなど、地産地消を心がけて構成しました。

参加した両国の子どもたちのメリットとしては、言葉の違いはあったにせよ、すぐにうち解けて仲良くなり、ホームステイ先の家族がびっくりするほど、日本語と中国語に英語の単語などを織り交ぜながら、夜遅くまで話をしていたそうです。香港の子どもたちが、また北海道、留萌に来たいといってくれたのも嬉しかったのですが、留萌の子どもたちが、今まで聞いたことの無かった香港という国に興味を持ち始め、地図を見て、両親に来年は行きたいと訴えてる姿も印象的でした。言葉が完全に通じ合ったわけではないと思いますが、気持ちは確かに通じ合いましたし、2泊3日の短い時間でしたが、本当に忘れられない体験になったようです。相互理解の勉強の場でも、好きな食べ物が一緒だったり、同じアニメが好きであったり、文化を越えての共通点を多数見いだせたのが新鮮だったようですし、また、引っ込み思案の子ども達や、言葉の壁が越えられないお友達にも、皆で助け合って、話の輪に入れるなどの、相手のことを思いやった言動も目立ち、本当に開催して良かったとつくづく感じています。

相互理解スクール決算

航空券・ホテル・ホームステイ・会議室など
2,096,310円

案内・申込書作成費・封筒作成費
165,675円

はがき・切手代

7,280円

振り込み手数料など

2,510円

事業費合計 3,081,575円



ニコニコ箱

横田会長：なんとか 2 ヶ月終わりました。先は長いですが
がんばります。

秋山会員：52 歳になりました。バースデープレゼントあり
ありがとうございました。

東谷会員：望田会員と仙台大河原町に行ってきました。

國澤会員：広い例会場ですばらしいです。

望田会員：本日、卓話を担当させていただいて。

仙台大河原町で東谷会員にお世話になって。

森川会員：常に災害に備えよう

本日摂津市防災訓練に招待されて意を強くしま
した。

辻井会員：今日の例会早退させていただきます。

ニコニコ累計

243,000円

運営委員会会報担当

枠内は今回担当者

宮野会員

郷木会員

青木会員

川脇会員

國澤会員

中尾会員